

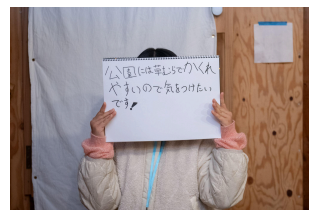
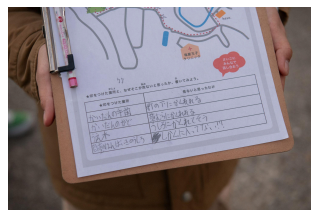
1. 事業概要

本事業は、地域の子どもたちが「取材する側」として町に関わり、大人や地域団体と協働しながら、地域の魅力や課題を自分たちの言葉で発信する。参加型・体験型の地域づくり事業である。第1回目として、塩屋地域をフィールドに、防犯パトロールや取材ワークショップを実施。子どもと大人が共に学び、考え、行動する場を創出した。本事業を他地域や他団体でも展開できるよう、プログラム制作にも取り組んだ。

2. 主な取り組み内容

●しおや防犯パトロール(キッズパトロール)

小中学生が「こどもパトロール隊」として地域を歩き、暗い場所や死角、人通りの少ない道などを確認。防犯マップを活用し、「なぜ危ないのか」を考えながら記録した。



●取材ワークショップ／キッズリポーター活動

取材の基本(見る・聞く・まとめる)を学び、地域活動を子どもたち自身が取材。記事原稿や写真としてまとめ、地域広報媒体『ふれまちしおや』へ掲載予定。

●出前授業プログラム作成／対話・取材ファシリテーション

「どうしたら安心して話せる?」「意見が違う時どうする?」などをテーマに、対話を通じて考える力・聴く力を育む勉強会を実施。学校や地域、他団体への出前授業としても展開していくためのプログラムを制作した。

3. 成果・参加者の声

「地域の他のイベントでも取材キッズとして参加してみたい」という声が多かった。次回は3/14に塩屋小学校で「垂水区総合防災イベント」があるそうなので、それを案内した。

4. 本事業の意義と今後

今後は、出前授業やワークショップの体系化、他地域や他団体への展開を視野に入れ、持続可能な地域づくりモデルとして発展させていく。